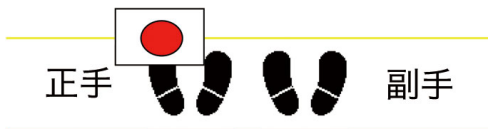


国旗掲揚マニュアル（朝礼等の儀式の場合）

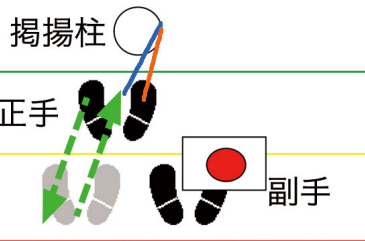
国旗の受け渡し

- ①「国旗掲揚」の号令で、掲揚手2名は揃って隊長の前へ駆け足。
- ②2名は揃って隊長に敬礼。（隊長は礼）
- ③正手が隊長から国旗を受け取り、正副手揃って礼。（隊長は敬礼）

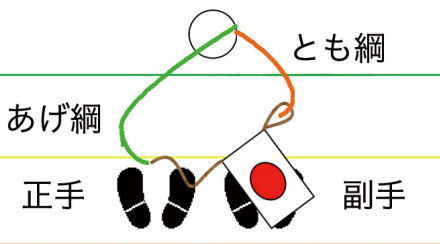
掲揚柱 ○



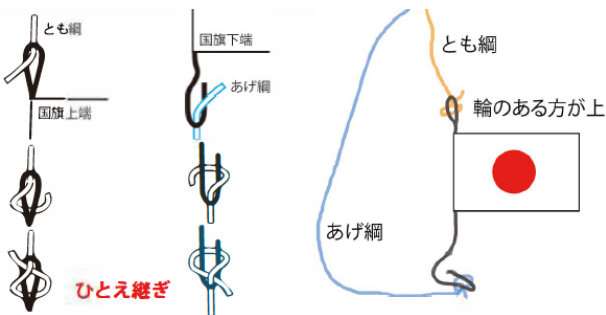
掲揚手2名は駆け足で掲揚柱の1歩前に。柱に向かって左側が正手（国旗を持つ）右側が副手



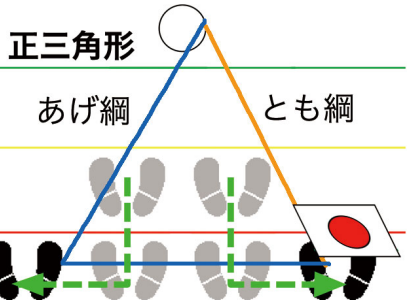
正手は国旗を副手に渡し、一歩前に出て綱を柱から外し、元の位置に戻る



副手は、たたまれた国旗を広げ（この時、国旗が地面に触れないよう注意）国旗の上端部（輪）を「とも綱」にひとえ継ぎ。正手は、国旗の下端を「あげ綱」にひとえ継ぎし、ロープのもつれやよれを直しておく。



掲揚に使う国旗は、上側の輪の部分が「とも綱」、下側部分が「あげ綱」にひとえ継ぎで繋がれます。



結び終わったら二人揃って一歩後ろへ下がり続けて1歩外に広がる。柱と正・副手は正三角形になる。

	<p>正手は、右手を真上にあげて準備完了を知らせる。(指は5本揃える・三指にしない)</p> <p>副手は、国旗の左下端をロープと一緒に左手でつかみ、右手で国旗をかかえるように支える。</p> <p>(国旗は肩にかけない。広げたり、風にたなびかせない)</p>
	<p>「揚げ」の号令で、</p> <p>正手はロープを滑らかに引き、国旗を竿頭まで上げる。</p> <p>副手はロープがたるまないように補助する。</p> <p>(国旗が手から離れる瞬間に、右側に勢いよく広がるように離すとカッコいい)</p>
	<p>「直れ」の号令で</p> <p>正・副手は中央に寄り、続けて一步前に戻る。</p> <p>正手はロープがゆるまないよう注意</p>
	<p>正手だけ、さらに1歩前に出て、</p> <p>「あげ綱」を綱止めに1回巻く。</p>
	<p>次に副手から「とも綱」を受け取り、</p> <p>2本合わせて八の字に巻く。(クリート結び)</p> <p>最後はよじって止める。</p>
	<p>正手は一步下がり、</p> <p>副手と二人揃って</p> <p>国旗に向かって敬礼。</p>
	<p>両者その場で右向け右をし、</p> <p>駆け足で隊列の自分の場所に戻る。</p>